

卓 球

- 1 主 催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
- 2 後 援 長崎県 (公財)長崎県スポーツ協会 佐世保市 佐世保市教育委員会
長崎県卓球連盟
- 3 主 管 長崎県高等学校体育連盟卓球競技専門部
- 4 期 日 令和8年6月6日(土)・7日(日)・8日(月)・9日(火)
開始時刻 9時30分
- 5 会 場 佐世保市東部スポーツ広場体育館(佐世保市浦川内762)
- 6 参加資格 大会実施要項による。
- 7 参加申込 大会実施要項による。
(高体連のオンライン申込で締切り日までに、申し込むこと。メール送信は不要です。)
※オンライン申込の際は、下記①～③に注意すること。
①『監督』の項目にはベンチコーチ(監督)に入る者の名前を入力すること。
②その際、学校対抗と個人でベンチコーチ(監督)が異なるときは、申し込み入力時に、『監督』の項目にそれがわかるように入力すること。
例) 監督:山田太郎(学校対抗・単)、川中弥一(複)
③外部指導者がベンチコーチに入る場合も、『監督』の項目にわかるように入力すること。(『コーチ・アシスタント』の欄に入力しない)
例) 監督:海野三郎(外部指導者 単・複)、川田明子(学校対抗)
- 8 競技方法 (1)大会実施要項による。
(2)シード校
①学校対抗……長崎県高等学校新人体育大会のベスト8をシードする。
②個人……長崎県高等学校新人体育大会等の結果を参考資料とする。
(3)試合は11点ゲーム、5ゲームスマッチとし、3ゲーム先取で勝敗を決める。
(4)学校対抗戦の勝敗は4～6名による1複4単の5試合の3点先取で決する。
(5)試合は次の順序とする。(但し、ダブルスは1番と2番では組むことができない。)
- | 順序 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|---|---|---|---|---|
| | S | S | D | S | S |
- 9 参加制限 (1)学校対抗戦はトーナメント方式で行う。(選手は4～7名以内とする。)
(2)個人戦
①複(ダブルス)・単(シングルス)ともにトーナメント方式で行う。
②ダブルス
・各学校3組(ただし学校対抗に出場しない学校は1組)
・令和7年度長崎県高等学校新人体育大会のダブルスでベスト8に入った8組の学校に対して追加の出場枠を与える。ベスト4に入った4組はシードする。
③シングルス
・各学校5名(ただし学校対抗に出場しない学校は2名)
・令和7年度長崎県高等学校新人体育大会のシングルスでベスト32以上に入った学校に対して追加の出場枠を与える。ベスト8になった選手はシードする。

- (3) 外国人留学生について
全国高体連卓球専門部内規(4) 外国籍選手の大会出場制限による。

- 10 競技規則
 - (1) 現行日本卓球ルールによる。
 - (2) ゼッケンを背に必ずつけること。また、学校対抗のベンチに入る選手は、ユニフォームを揃えること。
 - (3) 観客に不快感を与えたり、相手選手をいらだたせるような行為、或いはボール・テーブル・ネット・フェンスなどの器具を乱暴に扱うような行為はいずれもバッドマナーとしてペナルティーの対象となる。
 - (4) 高体連特別ルールとして、競技者は、アドバイスによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
 - (5) 学校対抗でベンチ入りする監督は、当該校の顧問または校長が認める外部指導者とする。
 - (6) ベンチに入れるのは、オンライン申込時に登録した監督(『監督』の項目に入力された者)1名、選手7名だけで、その他の者は全て観覧席から応援すること。なお、観覧席からのアドバイスやサイン・通信機器等を使って複数コートへのアドバイスは厳禁とする。
 - (7) 学校対抗では、進行上、複数の台を使用することもある。
 - (8) 個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
 - ① アドバイザーの資格は、オンライン申込時に登録した監督(『監督』の項目に入力された者)・選手に限る。(「7 参加申込※①～③」を参照)
 - ② アドバイザー(1名)は、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。他のコートでアドバイスしていた場合には試合中にベンチに入ることができる。試合の途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。(選手1名につきアドバイザーは1名のみです。途中交代は認められません。)
 - (9) タイムアウト制は、学校対抗は準決勝、個人戦は準々決勝から適用する。
 - (10) 1日目の学校対抗の試合は、相互審判とする。

11 表彰 大会実施要項による。

12 抽選会 大会実施要項による。

- 13 その他
 - (1) 学校対抗の1位は全国高等学校総合体育大会並びに、全九州高等学校総合体育大会の出場権を得る。また、学校対抗の2位は全九州高等学校総合体育大会の出場権を得る。
 - (2) 個人戦、単の上位4名及び複の上位2組は、全国高等学校総合体育大会、単の上位5名及び複の上位4組は、全九州高等学校総合体育大会の出場権を得る。個人戦の組み合わせは専門委員会で行う。
 - (3) 使用球は、日本卓球協会公認の、ニツタク40mmの白色プラスチック球とする。
 - (4) 会場や観客席を汚さないよう、各校、責任をもって処理すること。